

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 7年 2月 22日

事業所名 eravuすみれ台

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		場所ごとに使用目的を決めて配慮している。	
	2 職員の配置数は適切である	5		人員配置基準を満たしている。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5		階段に手すりがついている。	
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		毎日の共有を通して計画を立てている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		フェイスシートで保護者様からの要望を聞いている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		ホームページに挙げている。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5	行っていない。	その他の外部評価を行う予定はない。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		毎週一回、研修担当の職員が中心となって研修を行っている。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		アセスメント会議を行い、支援計画を作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		発達検査を参考にしている。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5		毎週1回時間を設け、チームで立案している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		季節感を大切に、毎週違うプログラムを行っている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		休日には学習時間を多く取るようにしている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5		お子さんの状況に合わせて利用時間の設定を行い、個別活動や集団活動ができるようにしている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		毎日30分程度ミーティングを行っている。	

16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		翌日に振り返りを行っている。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		毎日記録を書き、共有をしている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		定期的に見直しを行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	5		常にガイドラインに沿った活動を心掛けている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	直接支援をしているスタッフが会議に出ることは難しいので、日頃の活動や発達を聞き取りながら、児発管が主に出ている。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	行事予定表をもらい、下校時間が違う時は事前に保護者に連絡を入れている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	受け入れはない。	受け入れる予定はない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	学校と連絡をとり見学を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	現在は在籍がない。	今後該当のお子さんがある場合は、支援会議に出席し情報提供を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	西宮の事例検討会に参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	公園で会った近所のお子さんと遊ぶことがある	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	5		必要や要望に応じて参加する機会を設ける
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	利用される毎に、お子さんの状況をラインで報告している。相談があればすぐに応じるようにしている。	
保護者への	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	事業所内相談や電話での相談に応じている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	契約時に書類を見ながら確認を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	保護者からの連絡を受け、電話や訪問で対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	現在、保護者の会等は設けていない。	保護者の方の連携は必要であれば検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	随時電話やラインで受付けている	

説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	Instagramで活動内容を発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	5	同意書を作成している。また、写真の取り扱いには特に留意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	視覚支援や個別連絡による配慮を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	地域住民を招待することは行っていない。	必要であれば検討していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	マニュアルを策定し、職員だけでなく保護者にも定期的に周知を行っている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	定期的に訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	職員全員が研修を受け、知識を身に付けている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に	5	現在は身体拘束が必要なお子さんはいない。	今後該当のお子さんがある場合は、事前にルールを決定し、保護者や職員間で共有を行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	年に1回保護者から聞き取って個人記録に記入し対応している。クッキングの際には、保護者に個別に聞き取っている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	事例集は作成していないが、毎日職員間でヒヤリハットについて共有している。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 7年 2月 22日

保護者等数（児童数）26 回収数 11 割合 42%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11				個別での療育をありがとうございます。 別室があるという認識のお陰で、安心して集団にも挑戦出来ているように思います。	それぞれに適した環境で過ごせるよう配慮しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8			3		教員資格や保育士資格など専門性を持った職員を配置しております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4			7		古い建物で部屋と部屋の間に段差があるが、特に危険はありません。必要があれば個別に対応しています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	11					発達検査や視知覚検査の結果を踏まえて計画を立てています。
	5 <u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	11					毎週違うプログラムを設定しております。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	3	6		近くに公園があり、障害のないお子さまと活動する機会があります。
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11					入所時にご説明しております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11				利用日は常に報告して頂いており、親が見えていない所の発達段階が把握出来てとても助かっています。	毎回ラインでお子さんの様子をお伝えしています。ご相談があればお気軽にご相談ください。

保護者への説明等	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	3	1	私が不安な時にはお電話や面談を依頼して、お話する機会を設けていただいております。エラブさんからの面談依頼などはありません。	保護者からの連絡を受け、電話や訪問で対応しています。	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		4	4	3	保護者の方の連携はご希望に応じて検討していきます。	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			4	このような場面に遭遇したことがないため、わからないを選択しました	随時電話やラインで受付けています。どの職員でも対応いたしますので、お気軽にお問い合わせください。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	1				視覚支援や個別連絡による配慮を行っています。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	1		1		ラインワークスやインスタグラム、ホームページで発信しています。
	14	個人情報に十分注意しているか	11					今後も個人情報に十分注意してまいります。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	1		1		マニュアルは策定し、職員には周知していますが、保護者様への周知が不十分だと感じています。今後HPへの掲載を検討します。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	1		3		年に4回ほど不定期で行っています。今後HPへの掲載を検討します。

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	10	1		エラブさんが…と言うわけではなく、出掛けること自体にエネルギーが必要なため。	お子さまの通所に関して、日々のエネルギーが必要な中で通っていただいていることに心から感謝申し上げます。無理のない範囲で、お子さまにとって少しでも居心地の良い環境を提供できるよう、引き続きサポートしてまいります。何かお気づきの点がございましたら、どうぞお気軽にお知らせください。
	18	事業所の支援に満足しているか	10	1		いつも寄り添った支援をいただき、ありがとうございます。年齢があがり、家でも日々のサポートをどうすべきか悩ましいところです。保護者会や面談などもまたあると嬉しいです。また、最近少し足取りが重いですが「これがしたい、楽しみって思えることがあれば」と本人が言っていました。とはいえ、本人の気持ちにもむらがあるので難しいところですが…また考慮していただくとありがたいです。またよろしくお願いいたします。	温かいご意見をありがとうございます。お子さまが「楽しみ」と感じられる活動を見つけられるよう、配慮してまいります。面談はご希望があれば調整いたしますので、お気軽にご連絡ください。保護者会についても検討いたします。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	eravuすみれ台		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 3日		2024年 12月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2025年 12月 26日		2025年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者からの評価が高く、安心して子どもを預けてもらえる環境を提供できている。LINEなどを活用したこまめな報告が好評。	お子さんが通っている学校でのご本人の様子や先生方の関わり、家庭での関わりやデイでの療育を保護者さんに伝えている。	ご家庭の様子や保護者の方の要望を先生方とも共有し、ご家庭、学校等、デイで協力体制を構築していきたい。日々の関わりだけでなく、進路を視野に入れた取り組みを重視している。
2	教員資格を持つ職員が多く、学習支援に満足していただいている。発達障害に関する専門性を持ち、お子さんの特性に合わせた支援方法を提案できている。	研修や事例検討を行い、障害や子育てに関する知識を深める。複数の職員がチームで問題に関わり解決策を検討している。	保護者の方から希望された面談だけでなく、定期的な面談を行い、発達状況の確認、ご本人の困りごとの把握、進路等について共有する機会を設ける。
3	運動・学習・遊びなど、多様なプログラムを用意し、子どもの興味や成長に合わせた活動ができる。季節ごとのイベントや特別活動を通じて、楽しみながら成長できる機会を提供している。	子どもたちが様々な経験を積めるよう、毎週異なるプログラムを用意している。また、プログラム参加時にはアセスメントを行い、個々の特性に合わせた内容を提供している。	保護者や学校と連携し、日常生活や学習の課題を反映したプログラムを導入する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流会が減っている。	保護者交流の場の必要としているか把握できていない。	アンケートなど保護者のご希望をお聞きして、必要であれば交流の場を企画する。
2	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援は保護者のご希望があれば対応しているが、ご希望がなければ定期的な面談を行っていない。	面談のニーズをしっかりと把握できていなかった。	保護者の方から希望された面談だけでなく、定期的な面談を行い、発達状況の確認、ご本人の困りごとの把握、進路等について共有する機会を設ける。
3	防災・緊急時対応の周知が不足している。	保護者に対する説明の機会が少なく、マニュアルの配布や掲示も不十分。避難訓練の実施状況を保護者に報告していないため、取り組み自体が伝わっていない。	非常時対応マニュアルを保護者向けに分かりやすくまとめ、配布・掲示する。避難訓練の実施報告をLINEやお便りで定期的に共有する。